



# 岡山市水道事業審議会

## 第55回資料

平成 28 年 11 月 2 日(水) 14 時 00 分～

メルパルクOKAYAMA 3 階「芙蓉」

岡山市水道局

## 目 次

岡山市水道事業総合基本計画アクションプラン後期編 平成27年度取組実績について・・・・・・・・・・	1
岡山市水道事業総合基本計画 (アクアプラン2017)案について・・・・・・・・	10
岡山市水道事業総合基本計画 アクションプラン前期編(案)について・・・・・・・・	16

# アクションプラン後期編

## 平成27年度取組実績

### 平成27年度の事業費等

#### 1 事業費

(単位：百万円)

項目	期間中の 総事業費	H27年度 執行額	累計額 (H24～27)	執行率 (%)
1 安全でおいしい水の供給	925	34	1,709	184.8
2 信頼性の高い水道システムの確立	29,802	5,867	22,548	75.7
3 災害に強い水道づくり	1,451	212	1,023	70.5
4 お客様の満足に応える水道づくり	2,216	628	2,106	95.0
5 行財政改革の推進等による経営基盤強化	41	3	20	48.8
6 資源循環型の水道システムの構築	478	68	588	123.0
合計	34,913	6,812	27,994	80.2

#### 2 「5 行財政改革の推進等による経営基盤強化」による効果額

項目	H27年度目標	H27年度実績	備考
経費節減額	586 百万円	589 百万円	※H23年度との比較
事務事業、組織機構の見直し	320 百万円	240 百万円	
支払利息	189 百万円	251 百万円	
職員数の目標	350 人	348 人	

企業債残高	265 億円	253 億円	
-------	--------	--------	--

## 平成27年度の主要施策の取組実績

### ☆ 水道施設・管路の計画的更新及び耐震化

信頼性の高い水道システムの確立

災害に強い水道づくり

#### ◎ 水道施設の更新及び耐震化:1,796百万円

老朽施設を計画的に更新することで将来にわたる安定給水を確保しています。

- ・ 三野浄水場薬品沈でん池更新工事の継続実施(～平成29年度)
- ・ 菅野第1加圧ポンプ場のポンプ及び受配電盤取替工事の完了
- ・ 富山配水池の築造に着手 等



取替工事が完了した  
菅野第1加圧ポンプ場



工事に着手した富山配水池

#### ◎ 水道管の更新及び耐震化:4,133百万円

赤水の発生や漏水及び破損事故を未然に防止し、安全で安定的な給水を確保するため、老朽化した水道管を中心に計画的に更新しています。

更新に併せて、被害を極小化させ早期の給水復旧を図るため、新たに布設する水道管は耐震管を標準採用しています。

- ・ 老朽管36kmの更新 等

##### ※ 耐震化の状況

水道管耐震化率	15.2%	前年度比+1.2ポイント
基幹水道管耐震化率	41.8%	前年度比+1.4ポイント



水道管の更新工事

## ◀その他6本柱別主な取組結果▶

### ◎ 鉛製給水管の解消:12百万円

安全でおいしい水の供給

水質の安全性確保及び漏水を防止するため、公道部分の鉛製給水管179戸を解消しました。◀平成27年度末解消率:91.5%▶

### ◎ 本局庁舎の整備:222百万円

お客様の満足に應える水道づくり

大規模災害時には災害対策本部が設置される重要施設であり、水道サービスの拠点となる本局新庁舎の建設に着工しました。

災害に強い水道づくり



基礎工事中の本局新庁舎



## ◎ 応急復旧・給水体制の整備：2百万円

大規模災害時等の非常時においても迅速に給水を確保するため、他の事業者等と連携した防災訓練を実施したほか、応急給水スタンド等の必要備品を整備し、応急復旧・給水体制を強化しました。

- 防災訓練を年6回実施しました
- 応急給水スタンド17基を整備しました

### 災害に強い水道づくり



応急給水訓練の様子

## ◎ 広報・広聴の充実：10百万円

水道の重要性や水の大切さについて理解を深めていただくため、引き続き登録有形文化財に指定されている水道記念館等を活用し、各種イベントや啓発活動を行いました。また、市内小学校へ伺い、水道水ができる過程等を学習していただくために出前講座を行いました。

### お客様の満足に応える水道づくり



イベントの様子



出前講座の様子

## ◎ 行財政改革の推進

### 行財政改革の推進等による経営基盤強化

よりスリムで効率的な事業運営を目指し、適宜組織及び事務事業の見直しを行っています。併せて、将来の財政負担の削減及び財政基盤の強化を図るため、引き続き企業債残高及び支払利息の削減を行いました。

- 事務事業等の見直しにより240百万円の経費を削減しました
- 企業債支払利息を251百万円削減しました
- 企業債残高を47億円削減しました。(企業債残高253億円)

※ 上記数値は、計画策定時との比較

## アクションプラン後期編 平成27年度取組実績一覧

アクションプラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
安全でおいしい水の供給	水道水源の保全	水源林事業の継続実施	水源林事業 (鏡野町、新庄村)	間伐実施面積	5ha	5ha	○
				枝打実施面積	3ha	3ha	○
		水源水質の保全	河川水質状況の把握	ダム湖状況の把握回数	5回/週	5回/週	○
				水源の水質検査実施回数	2回/年	2回/年	○
	浄水処理のレベルアップ	カビ臭対策の実施	粒状活性炭の調査研究	研究結果の報告	/	研究結果の報告済	○
			旭東浄水場 活性炭注入設備工事	かび臭からみたおいしい水達成率	65%	65%	○
		残留塩素の低減化	水質監視局の設置	設置箇所数	16箇所	12箇所	×
			残塩WEBシステムの確立	検査測定箇所数	427箇所	521箇所	◎
			追塩設備の設置	設置箇所数	26箇所	18箇所	×
			残留塩素復活装置の設置	設置箇所数	11箇所	2箇所	×
浄水処理方法の調査・研究	大内浄水場 生物処理調査・研究	研究結果の報告	/	研究結果の報告済	○		
		川口浄水場 上向性ろ過処理調査・研究	研究結果の報告	/	研究結果の報告済	○	
水質検査・管理体制の充実	水質検査機器の整備(水質監視システムの拡大)	水質検査機器の更新	機器の更新率	78.7%	71.8%	×	
	水道GLPの継続認証(水道GLPの取得)	水道GLPの継続	水道GLPの更新	更新	更新	○	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価	
					目標値	実績値		
	給水装置等の適正な維持管理に向けて	給水装置の管理に対する広報の推進	指定給水装置工事業業者研修会の開催	研修参加率	/	/	○	
				研修有効率	/	/	○	
			パンフレット等による周知広報	給水装置管理責任認知率	100.0%	45.2%	×	
		貯水槽水道維持管理の啓発(貯水槽水道維持管理の啓発及び巡回点検サービスの強化)	貯水槽水道維持管理の啓発	貯水槽管理責任認知率	80.0%	69.1%	×	
		直結給水システムの拡大	直結給水の推進	新規直結給水届出件数	64件	141件	◎	
	直結給水方式への切替え促進		切替件数	17件	23件	◎		
	鉛製給水管の早期解消	鉛製給水管解消事業の推進	鉛製給水管の解消(第2期解消計画)	鉛製給水管解消率100%	98.1%	91.5%	×	
	信頼性の高い水道システムの確立	水需要に応じた安定施設整備	必要水源の確保と水源の見直し	灘崎地区給水整備(高区エリア)	検討結果を出す	/	検討済	○
				旭東浄水場配水制御システム更新	システムの更新状況	/	更新済	○
		運用・管理機能の強化	効率的な水運用	半田山配水池調整弁更新	影響世帯数	0世帯	0世帯	○
水源の見直しによる施設の効率的再編				御津地区水源調査	揚水可能量	/	調査済	○
施設のレベルアップ		御津地区基幹施設整備・矢原第2配水池	更新状況	/	/	更新済	○	
			旭東浄水場集中監視制御更新	更新状況	完了	未着手	×	
		三野浄水場薬品沈澱池施設更新及び着水井築造	三野浄水場耐震施設数	4箇所	4箇所	○		
		瀬戸地区基幹施設整備 大内-マンガン処理施設	大内浄水場対応作業時間	180日・人	180日・人	○		
		建部地区基幹施設整備 川口-表流処理施設	有人作業時間	482日・人	482日・人	○		

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成



アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価		
					目標値	実績値			
災害に強い水道づくり		老朽管の計画的更新	老朽管の更新	更新延長 240km	204km	246km	◎		
			基幹配水管(口径400mm以上)の更新	更新延長 15km	14km	9km	×		
			配水支管(口径350mm以下)の更新	更新延長 225km	190km	237km	◎		
			石綿管の更新	石綿管解消率 100%		97.7%	×		
	リスク管理体制の充実(災害被害の未然防止)	施設の計画的耐震化	基幹配水池の耐震化 ・操山配水池耐震補強及び2池化 ・△矢原第2配水池	配水池耐震化率 43.4%			57.9%	◎	
				基幹加圧ポンプ場の耐震化 ・矢坂山加圧ポンプ場	加圧ポンプ場耐震化率 30.8%		48.8%	◎	
				基幹浄水施設の耐震化 ・△三野薬品沈澱池	三野浄水場耐震施設数	4箇所	4箇所	○	
		配水管網の耐震化	配水管の耐震化	管路耐震化率(全体) 15.0%	13.6%	15.2%	◎		
				△基幹配水管(口径400mm以上)の更新及び耐震化	基幹管路耐震化率 29.4%	29.0%	41.8%	◎	
				医療施設等への配水管の耐震化	浄水場から医療施設までの水道管耐震化実施数	2箇所	9箇所	◎	
		浄水場自家発電設備の充実	非常用発電機更新計画の策定	計画の策定			策定済	○	
			三野浄水場非常用発電機整備	診断結果良判定			判定済	○	
		危機管理体制の充実(災害発生時の対応)	配水池の2池化及び緊急遮断弁の設置	鳥打山配水池2池化 △操山配水池耐震補強及び2池化 △矢原第2配水池(緊急遮断弁の設置含む)	緊急時確保水量対象人口 548,700人	548,700人	549,500人	◎	
			応急復旧体制の整備	防災訓練の実施	防災訓練の実施 3回/年	年3回	年6回	◎	
			受水の効果的運用と水源間の連絡管整備	受水系水道施設の取得検討	取得可否の結論を出す			検討済	○
				周辺市町村との連絡管整備検討	実施可否の結論を出す			検討中	×
NAS電池の検討	NAS電池の検討		実施可否の結論を出す	着手		実施しない	○		

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
お客様の満足に応える水道づくり	徴収事務の効率化	検針から収納まで一貫した料金徴収業務の効率化	検針・滞納整理・清算業務等の一括委託	収納率	99.79%	99.90%	◎
	広報・広聴の充実	ITを活用する広報(お客様に伝える広報)	局ホームページのアクセス数向上	アクセス数	79,000件	76,459件	×
		お客様が参加する広報(子どもに伝える教育プログラムの実施)	水道フェア、岡山市水道の日記念行事、水の実験工作室等のイベント開催	来場者数	3,500人	4,102人	◎
			小学校等への出前講座	実施回数	7回	5回	×
		お客様の思いを大切にする広聴(インターネットモニターの拡充等による広聴の充実)	水道利用者意識調査の実施	アンケートの実施	アンケートの実施	実施済(H26年度)	○
	サービス拠点の整備	庁舎等の整備	東水道センター庁舎整備	庁舎の整備		整備済	○
行財政改革の推進等による経営基盤強化	継続的な行財政改革	事務事業の見直しと組織・機構の整備(時代のニーズにあった事務事業・組織・機構の再編整備)	事務事業、組織・機構の見直し	行財政効果額	320百万円	240百万円	×
		職員数の適正化(定員管理の適正化)	職員数の目標	職員数	350人	348人	◎
		増収施策の推進(資産の有効活用など増収策の拡大)	未利用土地の売却、貸付	売却件数	1件	1件	○
			検針票裏面への広告掲載	広告収入額	63万円	22万円	×
		水質検査業務の受託	受託金額	750万円	552万円	×	
	財政基盤の強化	企業債残高の削減	企業債残高の削減	企業債残高	265億円	253億円	◎
			対前年度削減額	10億円	9億円	×	
支払利息の削減額			189百万円	251百万円	◎		
組織の活性化と技術の継承	研修内容の充実(研修体制の充実)	実務研修・一般研修の実施	1人あたり研修時間	18.1時間	11.6時間	×	

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

アクア プラン 6本柱	主要施策	事業名	構成事業	成果指標名	成果内容		評価
					目標値	実績値	
		国際会議、海外への職員派遣(国際会議、海外派遣等の推進)	国際協力機構(JICA)等を通じた海外派遣	年間交流参加人数	1人	0人	×
	協働による水道事業	お客様との協働活動の推進(市民等とのパートナーシップの推進)	局防災訓練への地元住民等の参加呼びかけ	実施回数	年1回	年1回	○
資源循環型の水道システムの構築	環境マネジメントシステムの改善	環境マネジメントシステムの運用(ISO14001※による環境負荷低減の継続的な取組)	独自EMSの運用	目標設定の見直し	継続運用	継続運用	○
	水の有効利用	漏水防止事業の推進・有収率の向上	漏水防止事業	有収率	89.9%	90.0%	◎
	資源リサイクルの推進	浄水発生土の有効利用	浄水発生土の有効利用	有効利用率	100.0%	100.0%	○
	CO2削減の促進	水道施設の省エネルギー化	エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づく計画的事業の推進	エネルギー消費原単位	0.652kl/m <sup>3</sup>	0.657kl/m <sup>3</sup>	×
		小水力発電設備の設置(小水力発電の検討)	小水力発電設備の設置	設備の設置	後期編期間内で1基設置	設置済	○
				集計	◎	19	27.1%
					○	31	44.3%
					×	20	28.6%
					合計	70	100.0%

評価について:「◎」目標を上回っている。「○」目標どおり。「×」目標未達成

## 岡山市水道事業総合基本計画（アクアプラン2017）案について

### 1. 今年度の経過

- 5月23日 水道事業審議会
  
- 6月 8日 岡山市議会 環境消防水道委員会  
23日 同上
  
- 8月 1日 パブリックコメント  
～31日
  
- 9月21日 岡山市議会 環境消防水道委員会

### 2. パブリックコメント

- ① 意見募集期間  
平成28年8月1日（月）～平成28年8月31日（水）まで
  
- ② 閲覧場所
  - ・水道局企画総務課、お客様センター、給水工事センター、東水道センター、西水道センター、北水道事業所、浄水課、情報公開室、各区役所、各支所
  - ・本市ホームページ
  
- ③ 意見提出方法  
電子メール、ファックス、郵送、持参、本市ホームページ入力フォーム
  
- ④ 意見提出先  
岡山市水道局企画総務課
  
- ⑤ 意見募集の結果
  - ア 意見提出者数 3名
  - イ 意見数 3件

⑥ 意見の概要及び意見に対する市の考え方

	意見の概要	市の考え方
1	財政状況が今後、厳しい見通しとなるとあるが、よくするためにどのようなことに取り組むのか。	資産の積極的な売却、職員数の適正化、施設の統廃合やダウンサイジング、民間活用など収入の増加・支出の抑制を図るため、経営改革を進めます。
2	近年の大規模な地震を見ると、水は、日常だけでなく災害時でもなくてはならないものと感じる。 水道管の耐震化など、災害対策を進めてほしい。	本市の水道管、水道施設の耐震化率は、政令指定都市の中で低い状況にあります。 災害被害の軽減を図り、市民のライフラインを確保するためにも水道管、水道施設の更新、耐震化は喫緊の課題であり、最重要事業として、しっかりと推進してまいります。
3	災害時の自助、共助、公助が大切とよく言われるが、自助、共助の必要性の訴えが足りないように思う。 また、今の広報活動は役所からの一方通行の情報発信が多いように感じる。	災害時の飲料水・生活用水の確保については、ホームページやアクア通信(水道局広報紙)でお知らせしています。 また、病院・学校において協働で防災訓練を実施するとともに、地域の防災キャンプなどにも参加し、住民の防災意識の向上を図っています。 今後、さらに広聴活動、協働活動を拡充し、よりお客さまの視点に立った情報発信をしていきたいと考えています。

3. 主な変更点

① 第2章と第3章の統合

② 「水道事業ガイドライン指標値からみた現況」の変更

③ 「項目ごとの課題一覧とそれに対応する新プランでの具体的施策一覧」の変更

④ 「第5章 基本施策ごとの具体的方策」の変更

⑤ 「主な施策目標」の変更

⑥ 写真、イラストの変更、削除

新総合基本計画主な変更一覧

旧頁	新頁	該 当 箇 所	変 更 内 容
2	2	「総合基本計画の趣旨の文章	文章の一部修正
6	6	「第2章 現況と環境の変化」	旧 「第2章 水道事業の沿革と概要」「第3章 環境変化・将来予測」
			新 「第2章 現況と環境の変化」
			旧 「岡山市水道の沿革」
			削除
		「水道事業の現況」	旧 「岡山市水道事業の概要」
			新 「水道事業の現況」
9	8	「(3)水道事業ガイドライン指標値からみた現況」	旧 平成19～26年度の平均と平成26年度の比較
			新 平成19年度と平成26年の比較
			棒グラフの削除
			年度比較と政令市比較の表を一つに統合
14	12	写真	写真の変更
15	13	「(3)岡山市第六次総合計画」	文章の一部修正
16	14	「(5)全国的な水道事業の動向」	文章の一部修正、写真の差し替え
19	17	「第3章 現状と課題」	旧 「第4章 岡山市水道事業の現状と課題」
			新 「第3章 現状と課題」
22	20	(1)水源確保・水質状況	文章の一部修正、注釈の移動
23	21	注釈	注釈の移動
24	22	「(2)水質管理」	文章の一部修正
25	23	「ウ 鉛製給水管の解消」	記載場所の変更、注釈の移動
28	24	「(3)給水装置等の維持管理」	旧 「(2)水質管理」
			新 「(2)水質管理」、「(3)給水装置等の維持管理」
27	26	表	表の挿入
30	28	表2、写真	表の項目の一部削除、写真の削除と挿入
32	30	「《課題》」	文章の一部修正
33	31	表3	表の項目の一部削除
34	32	「(2)緊急遮断弁の設置」	イメージ図の挿入
35	33	表4、写真	表の項目の一部削除、写真の削除
36	34	「(3)渇水対策・事故対策」	イメージ図の削除



37	35	「(4)危機管理体制」	イメージ図の修正
43	41	「(5)サービス拠点の整備」	新規
48	46	「(1)環境負荷低減」「(2)水源林」	旧 「(1)環境負荷低減・水源林」 新 「(1)環境負荷低減」、「(2)水源林」
53	51	「第4章 計画の基本理念」	旧 「第5章」 新 「第4章」
57	55	「第5章 基本施策ごとの具体的方策」	旧 「第6章」 新 「第5章」
58	56	アクアプラン2017施策一覧	「現状と課題」の一覧を削除
		第5章	(別紙)のとおり
60、61	57	イメージ図	イメージ図の修正
62、63	58	「河川等監視体制の充実」	旧 「水質監視体制の充実」 新 「河川等監視体制の充実」
		イメージ図	イメージ図の修正
64、65	59	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		イメージ図	イメージ図の修正、削除
67、68、69	61	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		イメージ図	イメージ図の削除
70、71	62	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		写真	写真の変更、削除
71、72、73	63	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		表中の目標	旧 ポンプ場耐震化率 H26年度 44.0% H38年度74.8% 新 ポンプ場耐震化率 H26年度 48.0% H38年度83.9%
		写真	写真の変更、削除
		イメージ図	イメージ図の削除
74、75	64	「具体的施策(1)老朽管の更新と管路の耐震化」	旧 「(1)老朽管の更新」、「(2)管路の耐震化」 新 「(1)老朽管の更新と管路の耐震化」
		施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		表中の目標	旧 基幹管路(口径400mm以上)耐震化率 新 基幹管路(口径400mm以上)耐震適合率
			旧 全管路耐震化率 H26年度 14.0% H38年度27.1% 新 管路耐震管率 H26年度 12.1% H38年度25.1%
		イメージ図	イメージ図の削除

76、77	65	【施策2】災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化	旧 「重要給水施設へ至る管路の耐震化」 新 「災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化」
		施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		表中の目標	旧 平成38年度の目標値 40施設 新 平成38年度の目標値 49施設 「耐震化済みの給水優先度の高い医療施設」の新設
		イメージ図	イメージ図の削除
78、79	66	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		イメージ図	イメージ図の削除
80、81	67	イメージ図	イメージ図の削除、変更
87	72	写真	写真の挿入
		イメージ図	イメージ図の変更
89	74	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
90,91	75	イメージ図	イメージ図の削除
92,93	76	イメージ図	イメージ図の削除
		写真	写真の挿入
94,95	77	イメージ図	イメージ図の削除
97,98	79	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
		イメージ図	イメージ図の削除
		写真	写真の変更
99	80	施策目標	一覧表の目標を施策ごとに記載
100		主な施策目標	該当する施策に目標を記載
101	81	「第6章 投資計画と財政計画」	旧 第7章 新 第6章
105	85	写真	写真の削除
109	88	「◎ポイント4:災害時に拠点となる施設への水道管の耐震化」	旧 「病院等重要給水施設への水道管の耐震化」 新 「災害時に拠点となる施設への水道管の耐震化」
115	94	「3. 事業運営にあたって」	文章の一部修正
117	97	「第7章 総合基本計画のフォローアップ」	旧 第8章 新 第7章

(変更前)

(別紙)

主要事業	1 浄水・配水施設の計画的更新と耐震化
① 事業概要	更新時期を迎える浄水・配水施設について、アセットマネジメント手法を用いて事業費の平準化に努めながら、維持補修による機能回復と更新による機能向上を計画的に実施し、併せて耐震化を進めます。また、水需要に応じた施設の再編を進めます。
具体的施策	(1) 浄水施設の計画的更新と耐震化 (2) 電気・機械設備の計画的更新 (3) 配水池、ポンプ場の耐震化 (4) 浄水施設の再編 (5) 浄水場監視体制、セキュリティ対策の強化

② (1) 浄水施設の計画的更新と耐震化

(水道施設) 老朽化した水道施設の更新と耐震化の推進

③ 【方針】

- 浄水施設の計画的更新により耐震化率を向上させます



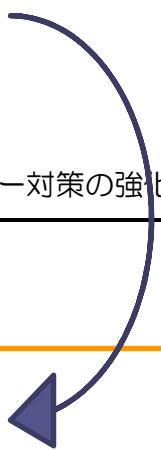
(変更後)

主要事業	1 浄水・配水施設の計画的更新と耐震化
① 事業方針	更新時期を迎える浄水・配水施設について、アセットマネジメント手法を用いて事業費の平準化に努めながら、維持補修による機能回復と更新による機能向上を計画的に実施し、併せて耐震化を進めます。また、水需要に応じた施設の再編を進めます。
具体的施策	(1) 浄水施設の計画的更新と耐震化 (2) 電気・機械設備の計画的更新 (3) 配水池、ポンプ場の耐震化 (4) 浄水施設の再編 (5) 浄水場監視体制、セキュリティ対策の強化

②

③ 【施策1】

- 浄水施設の計画的更新と耐震化



**岡山市水道事業総合基本計画**

# **アクションプラン**

**前期編(案)**

**(平成29～33年度)**

**平成28年 月**

**岡山市水道局**

# 1 アクションプランの策定にあたって

## 2 事業運営の方針と計画

## 3 個別事業計画

### 【基本施策の柱】

#### ○安全でおいしい水の追求

- ・残留塩素濃度の低減
- ・直結給水方式の新規及び切替件数

#### ○水の安定供給と強靱性の確保

- ・基幹管路(口径400mm以上)耐震適合率
- ・管路耐震管率

#### ○満足度を高めるサービスの充実

- ・出前授業
- ・水道利用者意識調査

#### ○持続可能な水道システムの構築


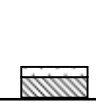
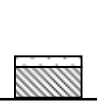
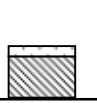
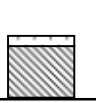



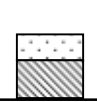
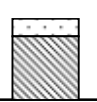
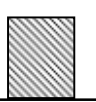





- ・企業債借入残高
- ・有収率

## 4 財政の見通し

平成29年度から平成33年度までの財政収支

### ③ 災害に強い水道づくり

#### 1 リスク管理体制の充実(災害被害の未然防止)

個別事業	配水管網の耐震化						
事業内容	基幹配水管や医療施設等、重要管路を中心に耐震化を推進します。						
事業目的	基幹配水管や医療施設等へ給水する重要管路などの被害が最小限となるように、未然防止対策として配水管の耐震化を行います。 また、地震等の災害に強い配水管網を構築します。						
スケジュール							
実施項目	成果指標名	現状値	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
配水管の耐震化	管路耐震化率(全体) 15.0%						
		8.0%	9.4%	10.8%	12.2%	13.6%	15.0%
△基幹配水管(口径400mm以上)の更新及び耐震化	基幹管路耐震化率 29.4%						
		25.8%	26.5%	27.9%	29.0%	29.0%	29.4%
医療施設等への配水管の耐震化	浄水場から医療施設までの水道管耐震化実施数	0箇所	0箇所				
		0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	2箇所	3箇所

『△』は事業実施の効果が複数の個別事業にまたがる項目